

社会資本総合整備計画事後評価書

平成30年9月3日

計画の名称	1 快適で安全なまちづくりの推進（防災・安全）																																							
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）				交付対象	稲城市																																		
計画の目標	地震被害の軽減を図り、安全に安心して暮らせるまちづくりの推進を図る。																																							
計画の成果目標（定量的指標）	①稲城市下水道総合地震対策計画を策定する。 ②地震対策対象路線に関して、稲城市下水道総合地震対策計画に基づいて地震対策を実施し、地震対策率を100%にする。																																							
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">計画</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H27当初)</th> <th>中間目標値 (H29末)</th> <th>最終目標値 (H31末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①下水道総合地震対策計画率 計画策定済面積（ha）/稲城市公共下水道区域面積（ha）</td> <td>計画</td> <td>0.0%</td> <td>(H29末) 100.0%</td> <td>—</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0.0%</td> <td>(H29末) 100.0%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②地震対策対象路線に関して、稲城市下水道総合地震対策計画に基づいて地震対策を実施し、地震対策率を100%にする。</td> <td>計画</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>100.0%</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>												計画	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	①下水道総合地震対策計画率 計画策定済面積（ha）/稲城市公共下水道区域面積（ha）	計画	0.0%	(H29末) 100.0%	—		実績	0.0%	(H29末) 100.0%	—	②地震対策対象路線に関して、稲城市下水道総合地震対策計画に基づいて地震対策を実施し、地震対策率を100%にする。	計画	—	—	100.0%		実績	—	—	—
	計画	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																			
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)																																				
①下水道総合地震対策計画率 計画策定済面積（ha）/稲城市公共下水道区域面積（ha）	計画	0.0%	(H29末) 100.0%	—																																				
	実績	0.0%	(H29末) 100.0%	—																																				
②地震対策対象路線に関して、稲城市下水道総合地震対策計画に基づいて地震対策を実施し、地震対策率を100%にする。	計画	—	—	100.0%																																				
	実績	—	—	—																																				
全体事業費（計画） （実績）	合計 (A+B+C)	90百万円 6百万円	A	90百万円 6百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	(計画) (実績)	0.0% 0.0%																													

事後評価（中間評価）

事後評価の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
数値目標の達成状況や事業効果の発現状況等について、稲城市社会資本総合整備計画評価委員会に諮るとともに、市議会常任委員会へ報告する。	平成30年7月 公表の方法 市のホームページに掲載

1. 交付事業の進捗状況

A1 下水道事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省路工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）		備考
											H27	H28	H29	H30	H31	計画	実績	
南多摩処理区																		
1-A1-1	下水道	一般	稲城市	直接	—	汚水	新設	稲城市下水道総合地震対策計画策定	稲城市下水道総合地震対策計画策定	稲城市						10	6	
1-A1-2	下水道	一般	稲城市	直接	—	汚水	新設	地震対策工事	管布設備替え・管更生・マンホール浮上防止等	稲城市						80	—	
小計（下水道事業）												90	6					
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省路工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）		備考	
										H27	H28	H29	H30	H31	計画	実績		
南多摩処理区																		
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考				
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省路工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）		備考	
										H27	H28	H29	H30	H31	計画	実績		
南多摩処理区																		
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

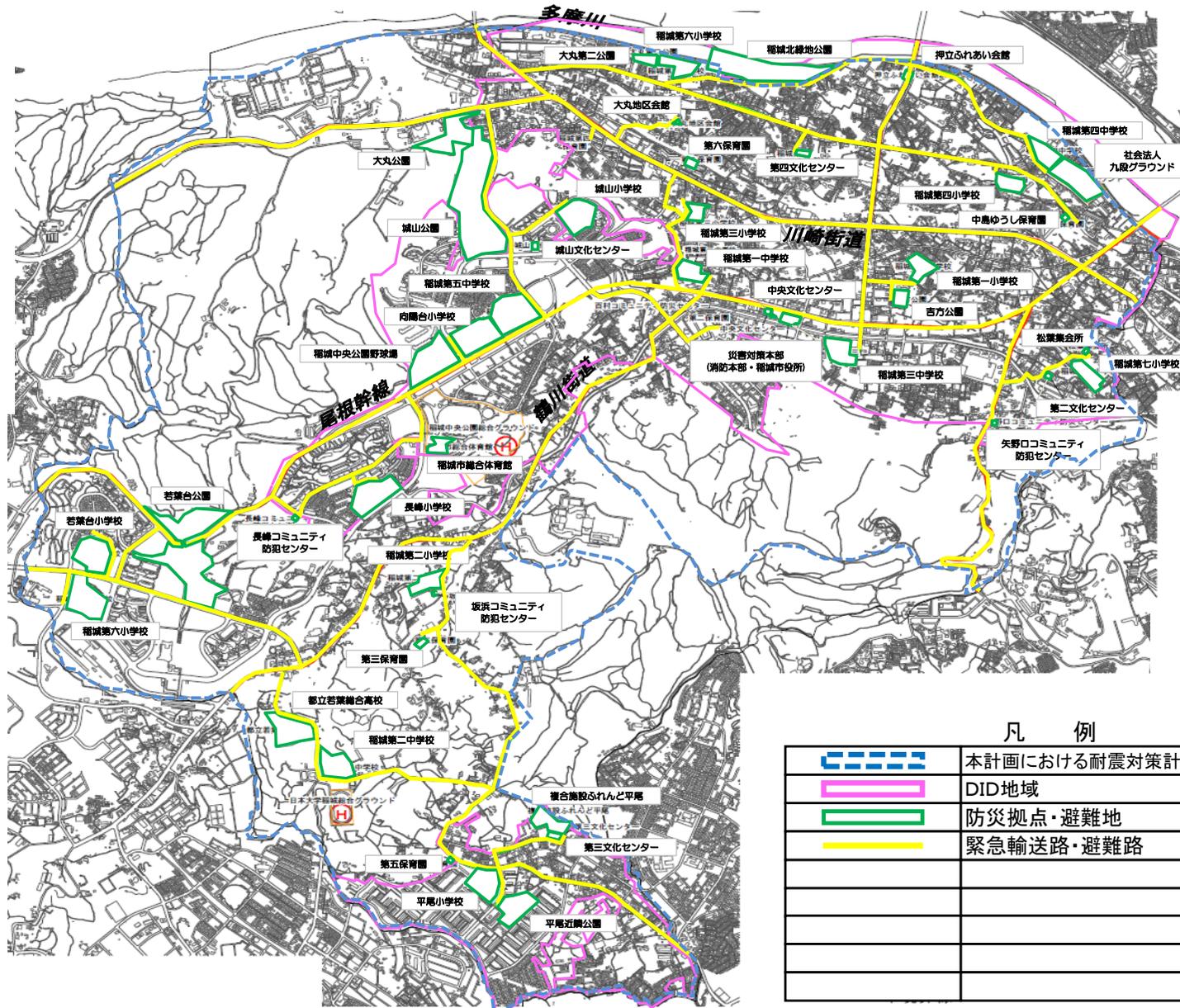
I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	・稲城市下水道総合地震対策計画策定作業において、耐震診断結果から耐震性能を有することが確認できた。										
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道総合地震対策計画率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	・稲城市下水道総合地震対策計画策定作業において、耐震診断結果から耐震性能を有することが確認できたため、本計画で地震対策は実施しないこととした。						
		最終実績値	100.0%								
	指標②（地震対策対象路線の地震対策率）	最終目標値	100.0%								
		最終実績値	—								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）											

3. 特記事項（今後の方針等）

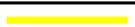
・稲城市下水道総合地震対策計画策定作業において、耐震診断結果から耐震性能を有することが確認できたため、今後耐震対策は実施しない。
--

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 快適で安全なまちづくりの推進 (防災・安全)	交付対象	稲城市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		



凡 例

	本計画における耐震対策計画対象エリア
	DID地域
	防災拠点・避難地
	緊急輸送路・避難路